

# エムオーテックス株式会社

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日

# 貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	11,087,955	<b>流動負債</b>	5,617,058
現金及び預金	3,768,966	買掛金	338,235
受取手形	11,913	未払金	686,315
売掛金	1,209,178	未払法人税等	854,191
製成品	720,464	未払消費税等	286,264
貯蔵品	6,454	未払費用	75,645
短期貸付金	5,000,000	前受金	2,906,850
未収入金	4,309	前受収益	7
前払費用	351,684	預り金	22,498
仮払金	14,983	賞与引当金	374,449
<b>固定資産</b>	5,170,454	役員賞与引当金	10,600
<b>有形固定資産</b>	1,179,041	資産除去債務(流動)	62,000
土地	309,045	<b>固定負債</b>	77,682
建物	820,860	資産除去債務(固定)	77,682
構築物	873	<b>負債合計</b>	5,694,741
工具器具備品	33,926	<b>(純資産の部)</b>	
建設仮勘定	14,336	<b>株主資本</b>	10,563,668
<b>無形固定資産</b>	1,477,379	<b>資本金</b>	20,000
ソフトウェア	1,477,379	<b>資本剰余金</b>	167,176
<b>投資その他の資産</b>	2,514,033	資本準備金	65,452
関係会社株式	992,431	その他の資本剰余金	101,723
会員権	5,800	<b>利益剰余金</b>	10,376,492
保証金	180,964	利益準備金	5,000
繰延税金資産	1,217,011	その他利益剰余金	10,371,492
長期前払費用	52,040	別途積立金	380,000
前払年金費用	70,785	繰越利益剰余金	9,991,492
貸倒引当金	△ 5,000	<b>純資産合計</b>	10,563,668
<b>資産合計</b>	16,258,409	<b>負債・純資産合計</b>	16,258,409

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

# 個別注記表

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
関連会社株式 移動平均法による原価法
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法  
製商品 個別法による原価法  
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しております。)  
貯蔵品 先入先出法による原価法  
(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しております。)

### 2. 固定資産の減価償却方法

- (1) 有形固定資産 定額法 (主な耐用年数: 建物 50 年、構築物 15 年、工具器具備品 5 年)
- (2) 無形固定資産 定額法 (主な耐用年数: ソフトウェア 3 年)

### 3. 引当金の計上基準

- (1) 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しています。
- (2) 賞与引当金 従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しています。
- (3) 役員賞与引当金 役員への賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しています。
- (4) 退職給付引当金 (前払年金費用) 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。  
数理計算上の差異は、発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数 (5 年) による定額法により発生の翌期から費用処理しています。

### 4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

- (1) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。